

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこにこ Megumi Club		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・幼稚園に併設されていることで職員同士での連携がとりやすく、集団での姿や困りごとを密に共有することができる。	・送迎時等に担任の先生、加配の先生と様子の共有や情報共有を細やかに行うことを意識している。	・お部屋の様子も実際に見て支援に活かしていくことができる機会を増やしていきたい。
2	・一つの枠のご利用人数が少人数な為、一人ひとりに丁寧に関わる環境がある。	・落ち着いた環境で子ども達の様子や理解度を確認しながら持参した園のカリキュラム内容や活動を行うことができる。 ・「できた!」という子どもたちの気持ちを積み重ね、自己肯定感を育むことができるようにしている。 ・枠組みが学年で分かれているため年齢に応じた取組みを進めることができる。	・行事やカリキュラム等についての説明をその子に応じた環境や声かけで行うことができるとより良い。
3	・子どもたちにとってリラックスできたり、心身の休憩ができる場所になっている。	・「なにかあればいつでも言ってね、いつでも来て良いよ」ということを伝えている。 ・子どもが自分で考える時間には職員が待つことを意識的に行い、子ども達の「自分でできた!」「言えた!」に繋げ、子どもの意思を尊重し、主体性を大切にしている。	・引き続き安心できる場所があることを伝えていく。 ・行事前なのか、疲れが溜まっていないか等の教室での状況把握を共有しておく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方とお会いできる機会が少なめ。	・保育時間中のご利用が多いため、基本的には連絡帳でのやり取りになっている。	・取り組みの様子が分かりやすいような内容の連絡帳を常に心がける。 ・何かあった際にはいつでも電話やご来所可能なことを伝えていく。
2	・園内外の研修の機会を増やしたい。	・一日を数枠に分けてご利用いただいているため、日中の研修時間の確保が難しい。	・来年度の空き枠に研修を組み込んでいくことで質の向上を図っていく。
3			